

利用者アンケートより

「ひとりぼっち(35%)」
 「涙が止まらない(28%)」



島根大学の研究チーム（研究者9人）が、フードバンクしまねあったか元気便の利用者世帯を対象に22年3月～4月に行ったアンケート調査結果と結果を踏まえた学際的な提言がまとめられ、このほど発表されました。

結果では、「（保護者の）非正規就労が半数以上であり、家計、仕事、子育てとの両立が困難。複合的な課題を抱えて精神的負担や孤独を感じている」などの利用者の現状を指摘。

また、中学生以上の子どもをもつ家庭では「学校や子育てにかかる費用が大きく学習支援ニーズが高い」こと。さらに、これらを踏まえ「継続的な学習支援が必要なこと」をはじめ「子育てや学校に関わる支出削減の仕組みや家計管理サポートが必要」など多岐にわたる提言がまとめられています。

調査結果と提言をまとめた冊子をご希望の方は、フードバンクしまねあったか元気便事務局にお問い合わせ下さい。

	よくある・時々あると答えた割合			検定結果	
	全体(N=193)	正規・自営業(N=73)	非正規(N=95)		無職(N=25)
そろそろ落ち着かないことがある	43.5%	35.6%	44.2%	64.0%	**
小さなことでも気になってしまう	67.4%	54.8%	75.8%	72.0%	**
眠れないことがある	53.9%	50.7%	52.6%	68.0%	
何をするのも面倒だと感じる	67.9%	63.0%	71.6%	68.0%	
自分はまったくひとりぼっちだと感じる	35.2%	27.4%	38.9%	44.0%	*
涙が止まらないときがある	28.0%	16.4%	32.6%	44.0%	*

** 独立性のχ²検定の結果、p<0.01の水準で有意
 * 独立性のχ²検定の結果、p<0.05の水準で有意

これらの不安・孤独感と就労状況にどのような関連があるか、クロス集計表を用いて分析すると、非正規職員や無職など、就労が安定していない人の方が精神的負担や孤独を強く感じている。

「元気ができました」春休み便は17校、392世帯へ5トンの食品を届けました

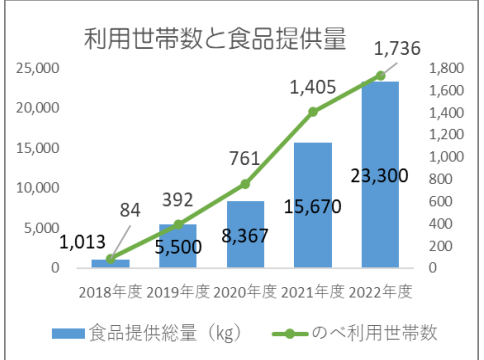
春休み便は、392世帯、1404人家族の皆さんに約5トンの食品を届けることができました。のべ17日間にわたった食品の仕分け、パッキング作業には、のべ321人のボランティアさん、スタッフが参加しました。

さっそく、食品を受け取ったAさん（母子家庭）からは、「いつも、元気便が届くのを楽しみにしています。今回、お菓子がたくさんあり、子どもたちが喜んでいました。いろいろあり、心が疲れ果てていましたが元気便をいただき、すごく元気をいただきました。」とお便りが届きました。

食品提供から「くらしと子育て応援」へ～22年度取り組みの概要～

22年度は、前年度の11校から17校に取り組みが広がりました。のべ利用世帯数は1737世帯、のべ利用者のべ家族数は6157人、提供食品総量は約23トンとなりました。パッキング作業などのボランティア参加者はのべ1084人、フードドライブ協力団体も約100団体と“支える輪”も大きく広がりました。

また、「おかあさんのためのレスパイト応援」や「お昼ごはん+学習応援」（津田小、古志原小校区）など「くらしと子育て応援」へ取り組みを広げつつあります。



各地から、採れたて野菜ぞくぞく

10日の受け取り日の前日には、（福）上口福祉会さんや本庄町の農家さん、上乃木町の景山さんの家庭菜園などから大根、なめこ、春菊、わさび菜、ミニトマト、高菜、ブロッコリーなど色とりどりの野菜がぞくぞく届きました。



30台設置をめざし「応援自販機」第1号誕生

コココーラさんの協力で、あったか元気便の「応援自販機」が誕生！これは、売り上げの一部をあったか元気便に寄付いただくものです。現在、松江生協病院、ふれあい診療所、JAくにびき、JAしまねさんなど10台が設置または設置予定です。設置費用は、一切必要ありません。ぜひ、設置にご協力ください。



ダンボール製の学習机を寄贈いただきました

（株）ヤマサキさんより、強化ダンボール製の学習机を1台寄贈いただきました。机、椅子の組み立てには、約5分。持ち運び自由な軽量タイプながら200kgの体重にも耐えられる丈夫な椅子など、使いやすくお手頃な価格が特徴です。利用者の方から希望される方を抽選してお届けします。



近くに頼れる人がないため私が体調を崩してしまっただけの時などインスタント類がありとても助かりました。特にレンジで温めるだけの物は娘でもできるので安心して任せられます。一緒に入っているお手紙にも娘共々とても励まされています。

いつもたくさんの品物を送っていただき本当に感謝しています。世の中は値上がりばかりで生活は決して楽ではないですが、段ボールが届くたびに子供たちの笑顔に救われています。

この様な活動、本当に素晴らしいと思います。まず食べられること、人とのつながりを感じられて安心して過ごせること、一番大切だと思います。困っている人の、今必要なことに応えて居られると思います。きっとまだご存じない方もおられると思いますので、未就学児のいるご家庭にはお知らせがあるのかな？と気になりました。

コロナが流行して職を失い、妻も子育てでなかなか仕事もできず大変苦しい生活をしました。家族全員がコロナになった時もありなかなか生活が元に戻らなくてどうしようかと思っていたのですが、フードバンク様の支援のおかげで乗り切れることができました。仕事も順調で12月以降からは少しずつ元の生活ができるような気がします。

こんなメッセージをいただきました

丁度育ち盛りで、お米なども子供だけで1日5合位は食べてしまい、元気便を頂くまでは食費も沢山かかり長期休み期間もお昼ごはんやら大変でした。本当に元気便に感謝です。箱詰め等も大変かと思いますが、いつもメッセージ付きで頂けて嬉しく思います。前回の引き受け時に子どもがコロナにかかり祖父母に受け取りを頼みました。受け取った際に消毒やらマスクが入っており、本当にすごく助かりました。その後家族全員がかかり1か月間も外に出られず、あったか元気便に本当に助けられました。大変ありがとうございました。

フルタイムで働いていて帰りが早くて19:30過ぎです。時間がなくさっと食べられるレトルト食品は助かりました。なるべくレトルトは使わず、作り置きするようにしていますが余裕がないときは活用するのでストックで購入したりしますので、入ったときは喜びました。

息子が今回初めて学校を通じて封書を持ち帰りました。今までニュース等でこういった取り組みがある旨の報道があり知ってはいましたが、一体どのようにしてこの取り組みを知り、受取をしているのか？と聞いていたところでした。最近ではひとり親に対してうがった目で見える人や冷たい言葉を投げかける人もいて心苦しく切ないこともあります。このように支援してくださる暖かい心に救われます。

主人も病気で思う様に仕事ができず、大学生の子どもにかなりお金がかかり食費を切り詰めているところ、このような支援をして頂き大変助かっております。

乃木公民館、持田公民館、八雲公民館、損保ジャパン山陰支店、上口福祉会、高濱印刷、アインズニュー
ヨーク、バンブー、国分西日本株式会社山陰支店、ヤマサキ、浄土真宗本願寺派山陰教務所、JP 労組松江
支部、グリーンコープ島根、島根労福協、生協しまね、松江保健生活協同組合、地域つながりセンター・
松江福祉公社・JAM 山陰・全日通労組・一畑電鉄労組支部・全農林松江分会・パナソニックインダストリ
ー労組・中国労金松江支店・こくみん共済 CO-OP 島根推進本部（お米・個人を除きます）（25 団体・順
不同、敬称略）



フードドライブにご協力
ありがとうございました